

# い〜ねくらぶだより



平成31年4月15日

認定NPO法人じゃんけんぽん  
企業主導型保育所 い〜ねくらぶ

4月です。新年度が始動しました。新しいお友達に興味をもって名前を覚えようとしたり、泣いていたら心配そうに頭を撫でたり。まだ1歳になっていない子も、相手がくしゃみするのをじーっと不思議そうに見ていたり……。子どもたちにとっては一つ一つ全てが当たり前ではない。出会いの4月なのだなあ、と改めて感じさせられている今日この頃です。



い〜ねくらぶの今年度のテーマは「個性を認め、みんなで育つ い〜ねくらぶ<sup>け</sup>家」に決まりました。「みんな」というのは、子どものことだけではなく、保護者の方も職員も地域の方々も、この場所に関わる方「みんな」といった意味あいです。〇〇家御一行といった一つの家族のように、お互いに育ち合っていける場になっていけたらと願いこのテーマになりました。

そういえば、家族ということ思い出したことがありました。お知り合いのご家族のことです。そのお宅のパパは、とにかく人生をどんどん楽しんでいくパワーにあふれ、自分のことが大好きなのが伝わってくるような方です。大人の在り方としてとても尊敬できると思い「どうしてそんな風になったのですか？」と聞いてみると「う〜ん、気付いたら日に日に（自分を）好きになっていた」とのこと。そちらのママも「確かに結婚した10年前はこんな感じの人じゃなかった気がする」と。子どもたちも含めてご家族みんなの温かさや和気あいあいとした雰囲気。その話を聞いた時に、大人も子どもも年齢関係なく、お互い安心し合って、自分のことを大好きと思えるように育ち合っているのではないかと感じました。

い〜ねくらぶのテーマを決める中でも職員の中で「安心できる」という言葉がキーワードに出ていました。安心できるという状態、ということに何か特別な力があるのかもしれません。

子どもたちの姿を見ていると、「育つ」という言葉の本当の意味は「自分を知って、自分のことが大好きになる」ということが大きいように思えます。

「みんなで育つ」ということ。

「みんなが自分を大好きになる」ということ。

これはなんだか、優しい世界になりそうだなぞ、とほんわかとした気持ちになってきませんか。

今年度も、みんなが安心できるい〜ねくらぶを、みんなで作っていけたらと思います。

